

「Open School Platform」プロジェクト 参加企業公募要領【事前公募】

本プロジェクトは、経済産業省の教育分野における情報処理振興施策の一環として、財団法人コンピュータ教育開発センター（以下「CEC」）が実施するものです。

1. 目的

CECでは経済産業省から委託を受け、平成17年度から、民間企業や自治体及び政府において導入が進みつつあるオープンソースソフトウェア（以下「OSS」）ベースのIT環境を学校現場にも導入し、教務・校務・学習等の学校現場のあらゆる場面における適応性及び有効性を検証するための実証実験（Open School Platform（以下「OSP」））を行いました。

平成18年度には、国内6地域（別紙1参照）で実施した実証実験の成果として、各地域の学校におけるOSSデスクトップ環境の導入と運用方法及び授業での活用事例等を、「OSPパッケージ」としてまとめました¹。更に、全6種のOSPパッケージの中から代表的なマニュアル類等をまとめた「OSP基本パッケージ（別紙1参照）」を作成しました。

平成19年度は、これまでの実証実験を通じて整理された各「OSPパッケージ」の学校現場への普及展開を図ることを目的として、OSPプロジェクトを実施します。

2. 平成19年度OSPプロジェクトの概要

学校現場へOSS環境を継続的に普及するためには、「学校現場の自主的なOSS導入計画の立案」、更に「各地域でOSS環境のサポート支援の提供」が非常に重要となります。

学校現場に対しては、既に「OSPパッケージ」を含めて様々な情報提供を通じてOSS環境の導入を促進しており、本年5月14日（月）には、OSS環境の構築を目指して試行を希望する小中高等学校等の教育機関の募集を開始しました。

一方、サポート支援については、各地域の学校現場でのOSS環境のサポートが十分に提供できていないのが現状です。そこで、平成19年度OSPプロジェクトにおいて、学校現場でのOSS環境のサポート事業に意欲のある民間企業・団体等を対象として、OSS環境の導入を希望する学校のニーズを提供し、併せて、サポート事業の課題解決及びビジネススキームの確立等を支援することによりサポート企業・団体等を育成し、学校現場へのOSS環境の普及促進体制を整備します。

¹ これら成果物は全てOSPポータルサイトに公開しております。（<http://e2e.cec.or.jp/osp/>）

さらに、本プロジェクトの成果も含めて教育現場におけるOSS環境の導入・活用・運用サポートの活用事例を教育関係者及びサポート企業・団体等で共有することにより、OSS普及展開を支援します。

3. 公募対象

「OSPパッケージ」を主として、各学校現場におけるOSSデスクトップ環境の導入・活用・運用に係るサポートを行う民間企業及び団体等とします。

4. 事前公募について

平成19年度OSPプロジェクトのサポート対応企業・団体等募集に当たっては、OSS環境の構築を希望する小中高等学校等の教育機関に係る情報（地域、校種等）を開示した上で、具体的な作業内容に関する「プロジェクト提案書」の提出を求める（「本公募」）ため、当「事前公募」はOSP事業に参加する意思の有無について確認する目的で実施いたします。

「本公募」の内容は、「5. 公募内容（「本公募」）」を御覧ください。

今回の事業に参加を希望する企業・団体等は、以下方法にて事前申請を行ってください。

(1) 事前申請書等の受付期間

平成19年6月4日（月）～平成19年6月25日（月）（必着）とします。

(2) 提出書類

- ・「平成19年度OSPプロジェクト参加に係る事前申請書」に必要事項を記入し、メールにて下記に送付してください。
- ・参加申請書電子ファイルは、下記のホームページからダウンロードしてください。

http://www.cec.or.jp/e2e/osp/19jizen_k.xls

http://www.cec.or.jp/e2e/osp/19jizen_k.ods

(3) 提出書類の送付先及び問い合わせ先

[送付先]

財団法人コンピュータ教育開発センター
ネットワーク利用促進部

E-mail : h19osp_k@cec.or.jp

[問い合わせ先] E-mail : h19osp_q@cec.or.jp

問い合わせはE-mailのみとし、電話での問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

5. 公募内容（「本公募」）

（1）提案内容

以下の2項目に関して提案していただきます。

i) OSSデスクトップ環境の導入・運用・活用に関する技術的サポート等

OSS環境の構築を希望する小中高等学校等の教育機関に対して、OSSデスクトップ環境の導入・運用・活用を行う際に必要となるサポート内容を提案していただきます。事前公募申請済み企業・団体等に開示された学校情報（地域、校種、学校数、各学校現場が求めるサポート要望等）を踏まえた上で、提案していただきます。

事前公募段階で想定しうる「OSP基本パッケージ」に基づいたサポート内容は以下の通りです。

（※以下は、あくまでも例示であり、実際の要望は学校の募集終了後に提示します。）

- ・学校現場の実情に沿ったPC管理手法に基づく導入・運用サポート（PC管理システム型、シンクライアント型、CD起動型）
- ・デスクトップPC（児童生徒用・教員用）の環境設定に係るサポート
- ・周辺機器との接続（プリンタ、デジカメ、USBメモリ、電子情報ボード、ペンタブレット、WEBカメラ、無線LAN等）
- ・学校現場の実情に沿ったデータ共有方法に基づく運用・活用サポート(NFS、Samba、SHFS、WebDAV、FTP、NetCommons)
- ・教員、児童生徒向けOSS導入・活用・運用に係る研修

ii) 学校現場へのOSS環境の普及活動の実践

サポート実施期間中は、OSPポータルサイトにおいてサポート企業・団体等と学校現場がOSS技術に係る情報共有を行い、文教分野におけるOSSコミュニティ形成に繋がるよう、各サポート企業・団体等においても、OSPポータルサイト等への積極的な参加と情報提供を実施していただきます。

（2）サポート実施期間

学校へのサポート実施期間は、契約締結日から平成20年1月31日までとします。なお、2月以降3月中旬までの期間は実施報告書（本公募時に記入要領を提示します）の作成等の期間とします。

（3）予算総額

予算総額は約4,000万円（消費税込み）です。

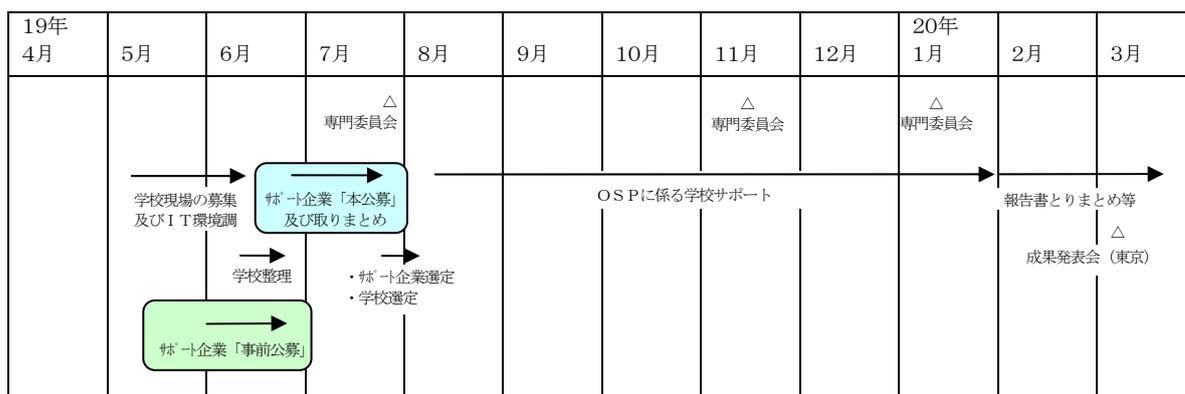
全4件程度、1件当たり1,100万円を上限とし、小中高等学校等約10校のサポートを行って頂くことを予定しています。なお、最終的な金額はCECがサポート内容等を勘案して決定することとします。

(4) 審査の観点

- i) O S Pパッケージをどれだけ効果的に利活用しようとしているか。
- ii) 対象学校に対するサポートが効果的に実施できる方策が講じられているか。(費用対効果)
- iii) トラブル/Q&A対応方法の妥当性、C E Cへの報告計画等を含め、確実なプロジェクト推進が行える体制が取られているか。スケジュールに無理はないか。
- iv) サポートモデルを利用し、O S P展開を意識した将来計画が考えられているか。
- v) 文教市場におけるサポート実績(O S S、非O S Sを問わず)もしくはO S Pパッケージのサポート実績があるか。
- vi) 本事業期間中及び終了後の広報方法やO S P普及策が具体的に立案されているか。

6. 公募実施スケジュール

- (1) O S S環境の構築を行う各学校へのサポートを希望する企業・団体等は、期日までに「平成19年度O S Pプロジェクト参加に係る事前申請書」をC E Cに提出します。**：今回の事前公募では当申請書を提出していただきます。**
- (2) (1)で企業・団体等から提出された申請書をもとに、C E Cにて、応募された企業・団体等を地域性や取組み内容等で整理します。(必要に応じてヒアリング等を行う場合があります。)
- (3) 教育機関が申請した「O S Pプロジェクト参加校申請書」をもとにして、C E Cにて整理した内容(応募された学校を校種・地域性や取組み方針等で整理)と(2)を突き合わせ、C E C内部でのプロジェクト成立見込みを立てます。(現在、教育機関に対して参加校希望に係る公募を実施中：6月18日(月)締め切り)
- (4) (1)で事前申請書を提出された企業・団体等に対して、応募のあった学校の情報(地域、校種等)を開示しますので、学校へのサポートを希望する企業・団体等は、サポート地域・サポート内容等を検討し、提案書の作成・提出します。(申請書記入要領、プロジェクト提案書記入要領は、別途提示します。)
- (5) (2)と(4)の内容を元に、C E Cに設置された外部有識者から構成されるO S P専門委員会において組み合わせ作業を行い、サポート企業・団体等4組織程度と学校40校程度を選定します。(サポート企業・団体等1社に対し、学校10校程度を想定しています。)



7. サポート企業・団体等決定後の手続き及び作業等

- (1) 参加申請をされた学校・教育委員会等及び提案書を提出された企業・団体等に対して、CECから審査の結果を通知いたします。
- (2) 採択された企業・団体等とサポート対象教育機関（以下「両者」）においてサポート内容の詳細について諸事項の確認を行い、8月下旬には準備を完了し、9月からOSS環境での活動を実施いただきます。その際に、学校からの実施計画書（A4版1枚程度）を提出していただきます。
- (3) 活動に係る問題・課題等の早期対応を図るため、両者から定期的にOSS環境導入後の報告書（様式は事業開始時に通知します。）を提出いただきます。
- (4) 活動期間内に開催するOSP専門委員会において、両者から活動内容を報告いただきます。
（11月及び翌年1月の開催を予定しますが、学校についてはいずれかの日にご参加いただきます。）
- (5) 採択された企業・団体等及びサポート対象教育機関（別途選定し依頼します。）は、本プロジェクトに参加して得た成果を成果発表会等でご発表いただきます。（3月初旬に東京での開催を予定）
- (6) 採択された企業・団体等及びサポート対象教育機関（別途選定し依頼します。）は、本プロジェクトに参加して得た成果を成果発表会等でご発表いただきます。（3月初旬に東京での開催を予定）

8. 契約

(1) 契約の締結

採択された場合は、CECと提案企業・団体等との間で委託契約を締結することになります。採択決定後は契約条件の協議が整い次第、速やかに契約を締結する予定です。なお、実際の契約の際の契約金額は、必ずしも提案金額と一致するものではありません。

経費の支払いについては、平成20年3月21日(金)までに実績報告書をCECに提出し、経費の確定後に精算払いとなります。

(2) 経費について

事業の遂行に必要と認められる経費は、具体的には以下のとおりです。

i) 人件費

サポート業務に従事する要員の提案企業・団体等における労務費(予算額表には単価(人日)を明確に記述いただきます。)

ii) 事業費

「OSPパッケージ」のカスタマイズ費用、サポート業務に係る近地交通費等

iii) 消費税及び地方消費税

上記の項目は消費税及び地方消費税を除いた額で算定し、その総額に消費税及び地方消費税税率を乗じて得た額を記入して下さい。

※注意点

全ての費用についてCECとの契約において定められる書類(作業日報、見積書、納品書、領収書等、費目毎に定められる証拠書類)が揃わない場合には支払われません。また、不適切と判断される費用(提案内容に含まれない、事業の趣旨に沿わない等)についても支払いの対象とはなりません。

以上

別紙 1

1. 学校等の公募に係る前提条件

学校等の募集に際して設定した前提条件を以下に記述します。

- ・採択された教育機関がOS S環境の導入に際して使用を希望するパソコン・周辺機器（プリンタ等）等に関して、各種サポートを実施できることとします。（パソコン及び周辺機器については、既存のものを活用する場合、中古または新規で購入する場合がありますが、いずれの場合も教育機関が決定し、サポートを開始するまでに事前に整備されていることとなります。）
- ・教育機関が用意するパソコンのスペックは、メモリ 256Mバイト以上、CD-ROMドライブ搭載のものとしています。
- ・教育機関が用意するパソコンの台数や活用形態（教務・校務・学習等）に制限はありません。

2. 平成18年度のOSP実証実験地域（6地域）について

- ・宮城県仙台市
- ・茨城県神栖市・かすみがうら市・つくばみらい市
- ・千葉県柏市
- ・京都府京田辺市
- ・岡山県総社市・倉敷市
- ・大分県大分市・豊後大野市

OS S環境で実現できる授業実践事例や技術情報等は、CECのOSPポータルサイト (<http://e2e.cec.or.jp/osp/>) で公開しておりますので、ご覧下さい。

3. OSPパッケージについて

「OSPパッケージ」は、教員及び児童生徒が直接利用するパソコンにおいてOS Sデスクトップ環境を検証することを目的として、平成18年度に実証実験を行った全国6地域（参考資料参照）がそれぞれにまとめた導入・活用・運用に必要となるソフトウェア・ハードウェア構成及びドキュメント一式をいいます。

また、「OSP基本パッケージ」とは、全6種の「OSPパッケージ」の中から、実証実験で得られた成果から抜粋して構成したもので、学校にある既存パソコンで、入手したその日からOS Sが使えます。（なお、一部機種によっては起動できない場合があります。）

「OSP基本パッケージ」の特長は以下の通りです。

- CD起動Linux (KNOPPIX) を利用しており、インストールや設定なしで使用できます。
- CD1枚で「小・中学生モード」と「高校生モード」を切り替えて起動できます。
- 16個の教育用アプリケーションをインストール済みです。

小・中学生モードで表示されるアプリケーション名	教科例
<ul style="list-style-type: none"> • ワードプロ (Open Office.org Writer) • 表・グラフ (Open Office.org Calc) • プレゼンテーション (Open Office.org Impress) • インターネット (Mozilla Firefox) • メール (Mozilla Thunderbird) • スケッチブック (Tux paint) • 動画編集 (Cinelerra) • ペイント (Gimp) • デジタルカメラ画像閲覧 (gtkam) 	(H18年度実践より) <ul style="list-style-type: none"> • 総合的な学習 • 国語 • 算数・数学 • 理科 • 社会 • 体育 • 技術家庭

高校生モードで表示されるアプリケーション名	教科例
ブラウザ (Mozilla Firefox) 、ワードプロ (Open Office.org Writer) 表・グラフ (Open Office.org Calc) 、 メール (Mozilla Thunderbird) プレゼンテーション (Open Office.org Impress)	教科「情報」
テキストエディタ (KWrite) 、ペイント (Gimp) 3DCG作成 (Blender) 、動画編集 (Cinelerra)	マルチメディア実習
C言語演習 (gcc) 、LEGO Mindstorm 演習 (nqc)	プログラミング実習
PICコンパイラ (Picc) 、PICライター (akipic) H8コンパイラ (h8300-hms-gcc) 、H8ライター (h8write)	マイコン制御

- CD起動のため、普段利用されているパソコンで試用することができます。HDDを利用しないため、既存のパソコン環境を壊しません。
- データ保存もサポートしており (別途FDDもしくはUSBメモリが必要) 、学校での年間を通した継続的な利用も可能です。
- LinuxやOSSを初めて触る先生方や児童・生徒でも安心してご利用頂けるように、多数のマニュアルを同梱しております。(内容は次頁を参照願います。)

◎ OSP基本パッケージに同梱されているマニュアル一覧

研修マニュアル

- ・大分市・豊後大野市地域プロジェクト KNOPPIX IT 教育システム利用マニュアル (教員向け)
- ・大分市・豊後大野市地域プロジェクト KNOPPIX IT 教育システム利用マニュアル (生徒向け)
- ・仙台市地域プロジェクト アプリケーション解説書 情報C KNOPPIXでダイジェスト作成
- ・仙台市地域プロジェクト アプリケーション解説書 情報C “すぐわかる” Impress
- ・仙台市地域プロジェクト アプリケーション解説書 情報C “すぐわかる” Cinelerra でムービー作成

サポートマニュアル

- ・大分市・豊後大野市地域プロジェクト 「KNOPPIX FAQ」
- ・仙台市地域プロジェクト OpenOffice・MSOffice 互換集 PowerPoint/Impress 編
- ・仙台市地域プロジェクト OpenOffice・MSOffice 互換集 Word/Writer 編

授業実践事例

- ・小学校：総社市・倉敷市地域プロジェクト 授業実践事例 (生活科、社会科、総合的な学習の時間)
- ・中学校：総社市・倉敷市地域プロジェクト 授業実践事例 (技術家庭科)
- ・高等学校：大分市・豊後大野市地域プロジェクト 授業実践事例 (情報 A、計測制御、課題研究)
- ・高等学校：仙台市地域プロジェクト 授業実践事例 (情報 B、情報 C)

H/W、S/W構成

- ・大分市・豊後大野市地域プロジェクト 「KNOPPIX 起動ハードウェア一覧」
- ・大分市・豊後大野市地域プロジェクト 「バンドル可能アプリケーション一覧」